

グラングリーン大阪開発事業者

| | | | |
|----------|---|------------------------|-------------------------------|
| 代表者役職・氏名 | 三菱地所株式会社 阪急電鉄株式会社 オリックス不動産株式会社 | 執行役常務 取締役 専務執行役員 | 大野 郁夫 氏 諸富 隆一 氏 高橋 豊典 氏 |
| 設立年月 | 2018年7月（URによる事業者決定） | | |
| 本社所在地 | 大阪市北区大深町（グラングリーン大阪） | | |
| 資本金 | - | 従業員数 | - |
| 事業内容 | 「グラングリーン大阪」は、約4.5haの面積を誇る都市公園、オフィス、ホテル、中核機能施設、商業施設、住宅を有する複合施設です。まちでの出会いが、様々な価値を創造し、持続的にみんなと社会全体を良くしていくことを目指しています。 | | |
| ホームページ | https://umekita.com/ | | |

【概要・受賞理由】

- 2024年9月にグラングリーン大阪が先行まちびらきした。関西の交通結節点である大阪・梅田において、大規模ターミナル駅直結の公園としては世界最大級の都市公園「うめきた公園」等の良質なみどりの空間の整備により、大阪のブランド向上(都市魅力向上)に寄与するものである。
- 中核機能施設として官民連携により整備されたイノベーション施設「JAM BASE」では、斬新な設計を用い、スタートアップ、事業会社、大学等の交流を促すことで、新産業の創出が期待される。
- 大阪・関西万博開幕直前の2025年3月には、さらに大規模な商業施設、ホテル、温泉施設などが開業予定であり、一層のにぎわい創出に貢献するものである。
- うめきた開発は、グランフロント大阪、グラングリーン大阪と、経済界も20年以上の年月をかけ携わったプロジェクトであり、関西の最後の一等地にふさわしい取り組みが官民一体の努力で推進されてきた。



【うめきた公園 サウスパーク】



【JAM BASE 会員制交流スペース「Syn-SALON」】

お問い合わせ先：

三菱地所株式会社 関西支店
TEL：06-6881-5160

特別賞

一般社団法人 COMING KOBE 実行委員会

| | | | |
|----------|---|------|---|
| 代表者役職・氏名 | 代表理事 藤井 治博 氏 | | |
| 設立年月 | 2015 年 10 月 | | |
| 本社所在地 | 兵庫県神戸市中央区旭通 3 丁目 4 番 12 号 前田ビル 1F | | |
| 資本金 | — | 従業員数 | — |
| 事業内容 | 阪神・淡路大震災において、各地域より受けた復興支援に対する恩返し | | |
| ホームページ | https://comingkobe.com/ | | |

【概要・受賞理由】

- COMING KOBE は、毎年 4～5 月に神戸市で開催される国内最大級のチャリティー音楽イベント。阪神・淡路大震災から 10 年となる 2005 年から始まり、2024 年の開催で 20 年を迎えた。参加者の入場料を無料とし、500 人を超えるボランティアによって運営を行う一方で、募金を集め、国内外の多くの震災被災地へ寄付を行っている。2024 年の寄付額は約 600 万円。
- 音楽ライブだけでなく、会場内には「減災ヴィレッジ」と呼ばれるスペースが設けられている。来場者とともに「震災」「災害」「防災」について考え、想いを共有し、メッセージを発信するブースが出展。イベントのコンセプトに共鳴する団体が、その想いを具体的なアクションとして展開している。
- 2025 年には阪神・淡路大震災から 30 年を迎える。震災を風化させず語り継ぐとともに、神戸からの恩返しとして各地の被災地支援を行うことをコンセプトとして、長年にわたり神戸の魅力発信にも貢献してきた COMING KOBE の取りまとめ役である実行委員会の取り組みは特筆すべきである。



【イベントの様子】



【参加者による募金の様子】

お問い合わせ先：

一般社団法人 COMING KOBE 実行委員会（担当：上田）

TEL：078-862-1017

以上

特別賞

京都学生祭典実行委員会

| | | | |
|----------|---|------|------------|
| 代表者役職・氏名 | 第22回京都学生祭典実行委員会 実行委員長 篠原 萌花 氏 | | |
| 設立年月 | 2003年4月 | | |
| 本社所在地 | 京都府京都市下京区西洞院通塩小路入ル キャンパスプラザ京都内 | | |
| 資本金 | 約5,000万円（年間予算） | 従業員数 | 108名（実行委員） |
| 事業内容 | 毎年10月に平安神宮前・岡崎プロムナード一帯にて繰り広げられる、学生プロデュースのお祭り「京都学生祭典」の主催のほか、年間での地域・国際交流活動等を通じた学生による京都の魅力発信に取り組む。 | | |
| ホームページ | https://www.kyoto-gakuseisaiten.com/ | | |

【概要・受賞理由】

- 京都学生祭典実行委員会は京都経済同友会の提言を受けて発足した組織。「大学のまち・学生さんのまち」である京都で学生が大学横断で力を合わせ、企画から運営までを自ら担う「京都学生祭典」を毎年開催してきた。22年の歴史を重ね、10万人規模の一大事業として発展を続けている。
- 具体的な取り組みは、社会課題の解決に取り組む学生のパイロット役としての活動や年間を通じた精力的な地域交流活動、国際交流活動、2025大阪・関西万博の機運醸成など多岐にわたる。さらに、実行委員の約6割が女性で、直近3代続けて女性が実行委員長となっており、女性の活躍も顕著である。
- 京都に集う学生の主体性を重んじ産官学が連携してその活動を支え、学生の若い力やエネルギーを地域社会に還元している。単なる「学生のお祭」ではなく、市民から愛され世界に通じる「京都四大祭」を目指し、人口の1割を学生が占める学生のまち・京都で学ぶ大学生だからできる、学生プロデュースのお祭りとして注目を集めている。



【万博機運醸成イベントでのおどり披露の様子】



【2024年10月の本祭の様子】

お問い合わせ先：

京都学生祭典実行委員会（担当：篠原・峯田）

TEL：075-353-9432

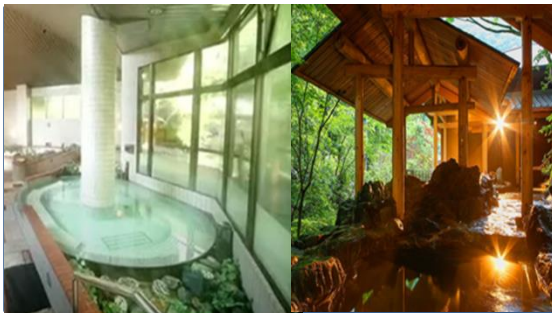
以上

株式会社ホテルニューアワジ

| | | | |
|----------|---|------|---------|
| 代表者役職・氏名 | 代表取締役社長 木下 学 氏 | | |
| 設立年月 | 1953年（創業） | | |
| 本社所在地 | 兵庫県洲本市小路谷 20 番地 | | |
| 資本金 | 2,000 万円 | 従業員数 | 1,750 名 |
| 事業内容 | ホテル・レストラン経営 太陽光発電事業 | | |
| ホームページ | https://www.newawaji-hotels.com/corporate/ | | |

【概要・受賞理由】

- 20 館の旅館・ホテルを経営（うち 16 館が関西に所在）。1998 年以降、26 年間で 1 館から 20 館にまで拡大したが、積極的な買収事例はなく、ほとんどが経営難・廃業に陥った宿泊施設の再生・リブランドである。行政や金融機関などの再生依頼に応じて、誰もが敬遠する案件を引き受け、「街の灯りを消してはならない」を合言葉に、地域の資源を徹底的に研究し味方につけることで、再生に成功している。2023 年の売り上げは 179 億円で、コロナ禍前（2019 年）比 114%。コロナ禍時の落ち込みも最大 22%に留まる。
- 買収にあたっては、雇用を維持・創出するとともに、徹底した地産地消により、第一次産業を中心に地域の需要を創出し、地域の魅力を発信。ホテル・旅館の再生により、観光業を通じた地方創生が実践されている。
- SDGs を積極的に推進し、再生エネルギーの活用、食品ロス削減、働きやすい職場づくりに取り組んでおり、ホテル経営を通じて地域の諸課題をともに解決する先進的な経営を行っている。



【宿泊施設の再生事例（左 before：右 after）】



【地産地消の徹底：淡路島の豊かな食材】

お問い合わせ先：

株式会社ホテルニューアワジ（担当：高木 俊光）

TEL：090-7108-2658

以上

株式会社ビジョンケア 代表取締役社長

高橋 政代 氏

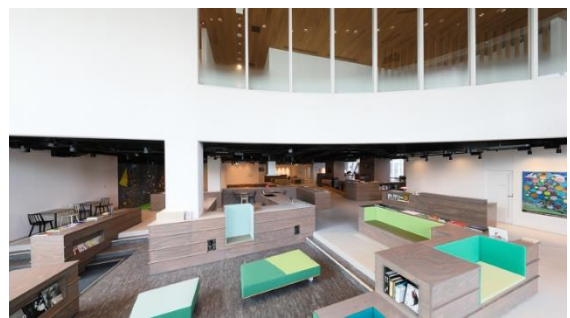
| | | | |
|--------|---|------|-----|
| 設立年月 | 2017年3月 | | |
| 本社所在地 | 兵庫県神戸市中央区港島南町二丁目1番8 神戸アイセンター5階 | | |
| 資本金 | 2,000万円 | 従業員数 | 26名 |
| 事業内容 | 眼科領域・再生医療領域の研究開発、コンサルティング 目的子会社の経営。ロービジョン者の就職支援・生活支援 | | |
| ホームページ | https://www.vision-care.jp/ | | |

【概要・受賞理由】

- 株式会社ビジョンケアは、高橋氏が提唱する神戸アイセンター構想のもと、理化学研究所で同氏と眼科チームが培ってきた臨床研究の発展と治療確立のために設立された。視覚障害者の問題解決と網膜疾患の治療法開発に取り組んでいる。
- 同氏は、2006年から2022年まで、理化学研究所 網膜再生医療研究開発プロジェクトのリーダーを務め、2014年には、網膜難病の患者本人のiPS細胞から作製した網膜細胞を移植する手術を世界で初めて実施。その後、視覚障害の課題にあらゆる解決策を提案したいと、神戸市の支援も得て、2017年に神戸アイセンターを設立。研究・臨床・患者ケアの一体化に取り組む。
- これに留まらず、研究室や病院から生まれるシーズを事業化・産業化し、社会に定着させたいと考え、株式会社ビジョンケアを設立。理研退所後の2019年に代表取締役社長に就任し、医師、研究者、経営者の3足の草鞋を履き、再生医療のトップを走り続けている。



【神戸アイセンター】



【神戸アイセンター構想の取組みを
体現している Vision Park】

お問い合わせ先：

株式会社ビジョンケア（担当：小田招子／臼山薫）

TEL：078-304-5260

以上

フジモトゆめグループ 社会福祉法人隆生福祉会 理事長

藤本 加代子 氏

| | | | |
|--------|--|------|------|
| 設立年月 | 2000年3月 | | |
| 本社所在地 | 大阪府大阪市東住吉区湯里1丁目3番22 | | |
| 資本金 | 1億606万円 (社会福祉法人の為、基本金) | 従業員数 | 405名 |
| 事業内容 | フジモトゆめグループ福祉部門として、「五つの笑顔（ご利用者様・ご家族様・地域・職員・法人の笑顔）」を法人理念に、特別養護老人ホーム・保育園をはじめとした25の事業を運営 | | |
| ホームページ | https://smile-yume.com/ | | |

【概要・受賞理由】

- 藤本氏は、専業主婦であったが、夫の急逝により眼科と塾の経営を引き継ぐ。「母性の経営」を理念に掲げ、CS（顧客満足度）とES（従業員満足度）を経営の両輪にして事業を拡大。現在、スタッフ700名を超えるフジモトゆめグループの最高経営責任者。また、24年前に介護・保育事業をスタートさせ、特別養護老人ホームやデイサービス、保育園などを運営する隆生福祉会を率いている。
- 隆生福祉会では、業界に先駆け、介護ロボットを導入するほか、大学や企業などのロボット開発に実証実験施設として協力している。また、福祉先進国と毎年2回のセミナーや職員の交換研修を実施するなど、介護現場の生産性向上および人材育成に積極的に取り組んでいる。
- また、同氏は、大阪公立大学で非常勤理事を務めるほか、万博サクヤヒメ会議代表理事として、2025大阪・関西万博で女性活躍を象徴するアートを展示するなど活躍の場を広げている。



EU 高齢者ケア会議にオブザーバーとして参加
(2014年 エストニア)



特別養護老人ホームゆめパラダイスの
エントランス (兵庫県尼崎市)

お問い合わせ先：社会福祉法人隆生福祉会（担当：久保田）

TEL：06-6701-5820

以上

株式会社ソーイング竹内

| | | | |
|----------|---|------|-----|
| 代表者役職・氏名 | 代表取締役 竹内 裕児 氏 | | |
| 設立年月 | 1982年4月 | | |
| 本社所在地 | 兵庫県多可郡多可町中区靴屋90 | | |
| 資本金 | 1,000万円 | 従業員数 | 34名 |
| 事業内容 | 繊維製品の縫製加工・卸売業 | | |
| ホームページ | https://www.sewing-takeuchi.co.jp/ | | |

【概要・受賞理由】

- 株式会社ソーイング竹内は、OEM生産を主体にさまざまな縫製品を製造販売する企業。兵庫県の地方部という環境も影響し、高齢化と人手不足に悩まされていたところ、最新機器の導入による自動化と、QRコード導入によるノウハウレス化により、無駄のない縫製工場に生まれ変わらせ、会社や商品の付加価値を高めることに成功した。
- これまで男性主体であった裁断現場を、女性主体に再構築するとともに、SDGs推進を前面に出して、太陽光発電、廃生地アップサイクルなどの取り組みを進め、環境に配慮した企業活動への転換を実現。とりわけ女性の活躍については地域の女性の力を100%活用することで就職希望者の増加をもたらしており、人手不足は解消されている。
- 地場産業である播州織が衰退していくなか、地域活性化のため、同社が中心となり地場の生地メーカーなどとタッグを組み、地域が一体となって受注に対応する体制を構築。女性の力の活用と環境にも配慮した先進性を踏まえ、企業活動を通じて伝統を後世に残していく活動が近年評価されている。



【女性が活躍する裁断現場】



【地場産業と環境配慮を融合させた商品】

お問い合わせ先：

株式会社ソーイング竹内（担当：笹倉）

TEL：0795-32-0018

以上

株式会社ママクリエイターラボ

| | | | |
|----------|---|------|----|
| 代表者役職・氏名 | 代表取締役 榊原 杏奈 氏 | | |
| 設立年月 | 2019年9月 | | |
| 本社所在地 | 兵庫県神戸市中央区磯上通4丁目1番14 三宮スカイビル7階 | | |
| 資本金 | 100万円 | 従業員数 | 3名 |
| 事業内容 | ママクリエイター育成スクールの運営と、事業主向けにWEB集客、広報をまるっとサポートするHPや動画などのWEB制作事業 | | |
| ホームページ | https://mama-creator.com/ | | |

【概要・受賞理由】

- ママクリエイターラボは、在宅ママのWEBクリエイターを育成するスクール事業を展開。「じまんのママになろう」をコンセプトに、子育てをしながら仕事のキャリアも積んでいきたい女性に向けた教育と就労支援を行う。受講者は、家事や育児の合間に習得したスキルを活かして在宅クリエイターとして業務。子育て世代の就労機会拡大につながっている。
- 同社では、受講生が卒業した後も、急な子どもの発熱やお客様とのトラブル等があった場合にプロのクリエイターが相談に乗り、仕事のサポートを行うなど働くママを応援する取り組みを行っている。
- 2024年11月時点で、関西および全国に300名のママクリエイターを輩出。子育て中の女性に対し、教育から就労支援までを一貫しておこなうことで、成長分野であるデジタル業界への女性進出を促すとともに、子育てと仕事の両立に向けた新たな選択肢を提供している。



【神戸市×ママクリエイタースクール
オンライン&リアル開催の講座風景】



【朝来市×ママクリエイタースクール
開講式】

お問い合わせ先：

株式会社ママクリエイターラボ 本部事務局（担当：榊原／柏原）

Mail : mamacreator.labo@gmail.com

以上